

アタマジラミの生態

(1) 形態

【成虫】

- 体長 2～4mm
- 体は扁平
- 色は濃褐色または淡褐色
- 翅はない
- 幼虫は成虫に似るが小さい

【卵】

- 楕円形
- 大きさ 約 0.4mm
- 色は乳白色
- 髪の毛の根もと近く（頭皮から 5 mm程度）にしっかりとついている

* 根元から離れたところにある卵は、古い抜け殻です。見つけたらハサミ等で切り取りましょう。

- ヘアーキャスト（フケ）に注意

* ヘアーキャスト：卵とよく間違われますが、フケや頭皮からの分泌物が毛のまわりに付いたもので、容易に動くことから卵と見分けることができます。



アタマジラミの卵



指で触っても動かない

ヘアーキャスト (フケ)



脂肪のかたまり



指で触ると簡単に動く

(2) 生態

【生活史】

卵（約 1 週間） → 幼虫（7～16 日） → 成虫（寿命 32～35 日）

【生態】

- 一生を人体上で過ごす
- 幼虫、成虫ともに吸血する
- 成虫は一日に数個、一生に 100～200 個の卵を産む
- 60℃以上の熱処理で死ぬ
- 人から離れた場合 1～3 日生存可能
- 動きは俊敏
- 媒介する感染症はない

(3) うつり方

【直接感染：頭髪への接触】

身を寄せ合って遊ぶ、頭をくっつけて寝るなど直接頭と頭が触れあうことによりうつります。

【間接感染：衣類等を介して感染】

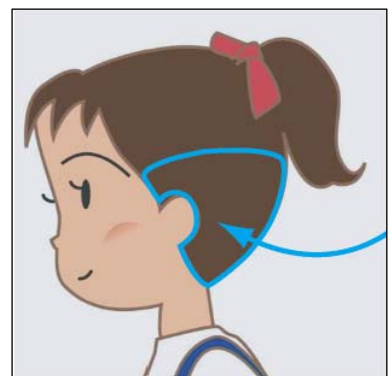
アタマジラミは人から離れても 1～3 日ほど生存するため、頭がふれるものなどを介して、うつることがあります。

例) タオル・櫛などの衛生用品や枕・シーツなどの寝具の共有など

(4) 見つけ方

後頭部や耳のうしろの髪のはえぎわに、卵が多くみられます。

髪の毛の根もと近くをよく調べましょう。



(5) 駆除方法

駆除は、10 日以上はつづけて取り組みましょう。10 日以上駆除を続けた後、2～3 日様子をみてかゆくならなければ駆除は完了です。

【すきぐしを用いた駆除方法】 *資料「すきぐしを用いた駆除方法」参照

- ① 毎日洗髪しましょう。
- ② すきぐしを使用しましょう。
- ③ 使ったものは洗いましょう。



【駆除薬（フェノトリン）を使用する方法】

- シラミ駆除用の市販薬を使用します。
- 使用方法を必ず守りましょう。

(6) その他のシラミ

アタマジラミのほかに人に寄生するシラミには次の 2 種類があります。これらは、アタマジラミとは寄生する場所や形態が異なりますが、アタマジラミと勘違いされることがあります。

① コロモジラミ

アタマジラミと形態が似ていますが、頭髪ではなく衣類に寄生します。衣類や寝具を共用することで寄生し、アタマジラミとは異なり、発疹チフス、塹壕熱（ざんごうねつ）、回帰熱などの病気を媒介します。

衣類や寝具の洗濯や入浴を普通に行っていれば問題になることはありません。

② ケジラミ

形態がアタマジラミとは異なります。主に陰毛に寄生しますが、まれに子供のまつ毛や頭髪にも寄生することがあります。性行為や寝具を共用することで寄生しますが、ケジラミが病気を媒介することはありません。